



●フィット用ショーワチューニング ラインナップ

型式	年式	バネレート	車高データ	価格
GE6	07/10~	F: 24N/mm R: 21N/mm	F: -15mm~-25mm R: -15mm~-25mm	8万7150円
GE8	07/10~	F: 24N/mm R: 21N/mm	F: -15mm~-25mm R: -15mm~-25mm	8万7150円
GP1	10/10~	F: 22.6N/mm R: 19.6N/mm	F: -15mm~-25mm R: -15mm~-25mm	8万7150円



●受け皿に軽量化の肉抜きがある。この部分は通常、チカラがかかっていない。万が一スプリングが折れたとき、ここで受け止める用。純正はそこまで考えてある。



●耐久性は純正と同等なのが基本。こういったダストブーツもそうです。構成するパーツすべて、そういう視点で作られているのがショーワチューニングのポイント。

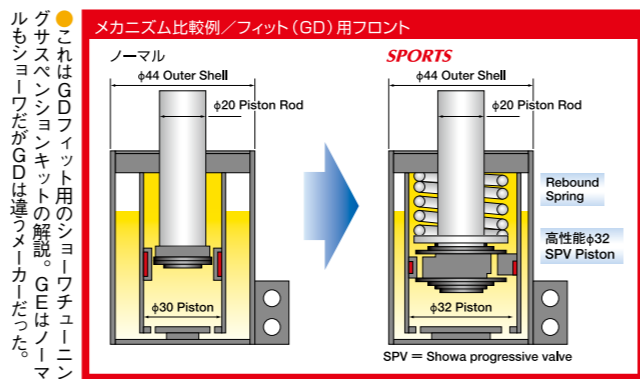
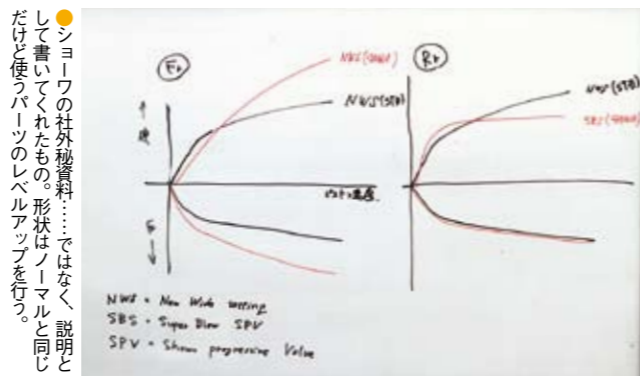


●実は赤の下地は純正と同じはがれにくく防錆効果などが高い黒塗装。ボルトが接触する面やブラケット内側はあえて黒い部分を出す。締め付けトルクもキチンと出る。



●ブラケットは別パーツだけど、取り付け方法もアウトに巻き付けて溶接。絶対に外れません。そして強度的に十分な範囲で軽量化もしてある。

●ショーワチューニングの製造はショーワ。販売はSPKが行う。CR-Z用のショーワチューニングサスペンションキットも好評。



また、内径を太く(容量を上げる)すると、径が細いものより、同じ減衰力にしたとき、ガス圧を低く設定できる。なのでスポーティさを狙い減衰力を高めていったときに、乗り心地で有利になってくる。

そしてフィット用のショーワチューニングサスペンションキットの作りで特徴的な部分としては、図で紹介しているように、ダンパー内部にリバウンドスプリングが入れているところ。

コレを入れるとロッドが伸びるときにスプリングを縮めていくのでバルブ部で設定した減衰力以上の硬さが生まれる。伸び別調整式のサスペンションのように、内側のタイヤの接地性を高める働きをするのだ。



取材協力:  
ショーワ(製造)  
<http://www.showa1.com>  
SPK(販売)  
☎03-3472-5015  
<http://www.showa-tuning.com>



●車体を支える役目を持つのがスプリング。ショーワチューニングでは、スプリングの素材も軽量で高応力なものを使う。もちろん耐久性もほかと同様。



●これは複筒式のカットモデル。内側の部屋の径が太くなれば細いモノよりガスの圧力を下げて同等の減衰力に設定が可能。そのためよりガス圧も上げやすい。

まさら紹介するまでもなく、フィット乗りに人気のパーツといえばショーワチューニングのサスペンションキット。

適度なローダウンに気持ちよくしまった乗り味、とサスキットの常とう句そのものの走りが実現できる。それでいて買いやすい値段とくれば人気があつて当然。

さて、それほどのヒットを作ったショーワは4輪、2輪のサスペンションを作っているし、パワーステアリングなども作っている自動車関連パーツメーカー。世界中に拠点を持つ大きな企業だ。それだけにサスペンション製作に関しては色々なノウハウと技術、設備を持つ。

そんな大きなメーカーが作るサス

キットとして、ショーワチューニングのキットは正直シンプルすぎる気がしないでもない。もっとスゴイのも簡単に作れそうでしょう。

もちろん技術的にはそれは可能、だけど純正パーツを作るメーカーとしては、アフターパーツ市場用と言っても純正同等の耐久性を持つことが条件。ちなみにノーマルカーの保証は一般的に10年、10万キロ。

さらにそのキットを付けても、ホイールとのクリアランスなど、純正と同じでなければならぬと言った部分もある。アフターパーツといえども、不特定多数の人が使うだけに「ナニかあったあ」とあ、それは「すね」という後出し的な言い訳は許されない。そういうシビアな条件のな

かで作る使命があるのだ。

さて、そのショーワチューニングのダンパーの作りだけ、構造はノーマルと同じダブルチューブ式。ダンパー内部に内側と外側、ふたつの筒を持つが、GD用ではノーマルに対して内側の径を太くしている。理由は32φという大径ピストンを使い、径が広がれば通過できるオイル量、流れるスピードなどコントロールしやすいので減衰力設定の性能がよくなるということ。

GD用もGE用もピストンにシヨワプログレッシブバルブ(SPVB)という高性能バルブを採用。純正バルブよりスムーズな減衰力特性を作りだしてある。



4輪サス開発部 設計BL  
河村哲哉さん



4輪サス開発部 設計BL  
長町知宣さん

●クルマの価格は構成しているパーツの値段と比例する。フィットのように価格設定が安めだと、パーツのコストも抑え気味になるのだ。



ノーマルサスを作った人たちが  
違う視点で仕上げた乗り味とは  
ショーワチューニング  
サスペンションシステム

photo:渡辺洋一

作り  
り  
また  
いた  
た  
モ  
ノ